

事務事業名		ため池緊急防災体制整備促進事業		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>		所属G	農林道G	課長名	細木 浩之
	施策名	(36)農業の振興		担当者名	江角 望	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		(内線)	2401
	基本事業名	(108)農業基盤の保全		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	土地改良事業	
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。		項目 中事業 中事業名	ため池緊急防災体制整備促進事業	

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (27 年度 ~ 30 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	施設が決壊した場合に家屋、道路、公共施設等に被害が想定されるため池について、国庫補助事業制度を活用し、ため池の廃止を行う。 (事業内容:ため池の廃止) 採択要件は 事業費 定額上限10,000千円 想定被害が、家屋、国・県・市道、河川、公共施設等におよぶもの 補助率は国 100%

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
		現地確認 調査測量設計 工事施工	工事施工(繰越) 吉田町上山地内 見内地区			
	大東町畑鶴地内 鉄六内地区 吉田町上山地内 見内地区					
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 事業費	千円	4,975	2,049	9,899	4,199
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	雲南市内のため池	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
			ア 調査ため池	箇所	1	1	1	0
			イ 廃止ため池	箇所	1	0	2	0
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	ため池の廃止	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
			ア 廃止済みため池	箇所	1.0	0.0	1	1
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
ため池廃止2箇所(1箇所工事繰越)	財源内訳	千円				
委託料 1,909千円	国庫支出金	千円				
工事費 7,990千円	県支出金	千円	4,975	2,021	9,888	4,111
計 9,899千円	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円		28	11	88
	事業費計(A)	千円	4,975	2,049	9,899	4,199
	人件費	人	1	1	1	
	正規職員従事人数	時間	30	30	100	
	延べ業務時間	千円	117	119	408	
	人件費計(B)	千円	5,092	2,168	10,307	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
県内5004カ所の農業用ため池のうち、250箇所の整備済みを除き、ため池廃止を目的に27年度に新規創設された補助金事業である。	特になし	アンケート結果によると管理できないため池も多く、廃止したい事業要望の声がある。

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？	見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている *余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である *余地がある場合⇒	
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である *余地がある場合⇒	
B 有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	理由 県制度の基準に基づく計画及び改修をしており向上余地はない。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	
	<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由 受益者やため池所有者が全てを負担しての改修になり負担が重くなる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある *ある場合⇒ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	(具体的な手段や類似事業名) 国庫補助事業の対象とならない危険ため池の改修事業はこれのみである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 受益者負担があることから、負担可能な範囲での事業費決定としている。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	理由 地元調整や現場管理を考慮すれば削減の余地はない。
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である	理由 現地を確認したうえでの緊急性を考慮している。

評価 の 総括	① 1次評価者としての評価結果	② 1次評価結果の総括(根拠と理由)
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正な予算執行に努めた。

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
今後も同様に適正な執行に努める。																						